

題材の目標

- (1) 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。
- (2) 造形的なよさや美しさを感じとり人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

【準備等】 参考資料、ワークシート、筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 参考作品を見て、作者の心情や表現意図を考える。</p> <p>★絵の中には、どんな物語があるかを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参考作品をじっくりと見る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「私と村」マルク・シャガール ○絵を見て気が付いたことをワークシートに記入する。 <p>○グループになり、気付いたことを話し合う。</p> <p>○グループ内で、お互いの気付いたことを参考に、物語を考え、ワークシートにまとめる。</p> <p>○各グループで話し合ったことをクラス全体で発表する。</p> <p>○各班の発表から、新しい気付きをワークシートに記入する。</p> <p>○参考作品の鑑賞から、作品を作るための制作意図や工夫について感じたことや考えたことをワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞に集中できるように、落ち着いた雰囲気の中で教科書 p 32 の参考作品を鑑賞させる。 ・「造形的な視点」に注目させる。 <p>【評】 構図や色彩などが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えた鑑賞活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】 造形的なよさや美しさを感じとり人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え鑑賞する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを進める前に、教科書 p 33 上部の文章を一読し、鑑賞の視点を示唆させる。 <p>【評】 造形的なよさや美しさを感じとり人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて話し合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表に作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えられるよう、助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身も作者であることを理解させる。 <p>【評】 楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

本題材は、写実的に描きたいと思い始める生徒が増える中、思うように制作ができないと落胆し、美術離れを始める生徒にどのように制作する楽しさを伝えるかを考えられる授業である。入学から学んできた「造形的な視点」を活用し、作者の関心や発想、作品に込められた心情、作品でどんなことを伝えたかったのかといった制作者の立場を考えた鑑賞を行うことで、今後の作品づくりで主題設定をより深く考えたり、よりよい表現の構想を練ったりすることをねらいとしている。